

# 一般社団法人 日本医療機器学会

## 2020 年度第 3 回理事会 議事録

日 時：2020 年 12 月 15 日（火）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2F セミナーホール（東京都文京区本郷 3-39-15）

（会場・Web 併用開催）

出席者：矢富 裕理事長、東 竜一郎副理事長、

青木 郁香、植竹 茂、臼杵 尚志、加藤 伸彦、加納 隆、川本 武、

小林 直樹、酒井 順哉、住谷 昌彦、高階 雅紀、中野 壮陸、根本 裕司、

林 正晃、平田 哲、深柄 和彦、福田 修一、増田 順、松田 和久、

松原 一郎、南 正人、安原 洋の各理事

本田 宏志監事

欠席者：小西 賢三理事（委任状）、中島 章夫

玉井 久義監事

事務局：岩田 誠、寺嶋 秀之、桑原 祐子、池野谷 崇臣

定足数と出席理事の確認：定款第 36 条により理事 25 名の内過半数の 23 名が出席し、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。（事務局）

### 1. 開会宣言、議事録の確認及び議事録署名人の指名（理事長）

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会（会場・Web 併用会議）を宣した。

- 1) 議長より、2020 年度第 2 回議事録の内容確認の要請があり、出席者全員により確認された。
- 2) 議長より、本会の議事録署名人は定款 37 条により理事長及び本日出席の本田幹事を指名する旨の報告があり、出席者全員により確認された。

### 2. 2021・2022 年度役員選挙について（理事長）

- 1) 理事長より、選挙管理委員会委員長および委員の委嘱に関し、役員選任細則第 4 条より総務委員会メンバー東委員、安原委員、根本委員、花岡委員に事務局長を加えた 5 名が指名されその委員長については東委員とすることを出席者全員により承認された。
- 2) 役員選挙実施スケジュール等について（選挙管理委員長）  
選挙管理委員長より、理事会資料に基づき、役員選挙実施スケジュール等についての説明があった。

### 3. 委員会関連事項

#### 1) 総務委員会（東委員長）

- (1) 会員数の推移（入会者の承認・退会者の確認）

総務委員長より、資料に基づき会員数の推移について報告があり、本日現在の会員数は、名誉会員 9 名、功労会員 0 名、正会員 6,150 名、企業会員 290 名。前年同期比

で正会員が 247 名減少、企業会員が 10 名減少した旨の報告があり、出席者一同これを承認した。

(2) 個人正会員の入会(推薦なし、個別承認分)

総務委員長より、推薦者無しの新規個人会員 2 件の入会依頼について説明があり、審議の結果、個人会員として入会を出席者一同承認した。

(3) 協賛・後援・共催依頼

総務委員長より、資料に基づき、協賛依頼 4 件、後援依頼 3 件、共催依頼なしと報告され、出席者一同これを追認した。

(4) 研究・開発助成制度の募集及び選考委員会の委嘱

理事会資料に基づき、研究・開発助成制度の募集(第 90 巻 6 号に掲載)及び選考委員会を学術委員会へ委嘱することを出席者一同異議なくこれを承認した。

(5) 褒賞規定に基づく功績賞・技術賞・技術奨励賞の募集及び選考委員会の委嘱

総務委員長より、資料に基づき、功績賞・技術賞・技術奨励賞の募集(第 90 巻 6 号に掲載)についての説明があった。功績賞は総務委員会へ、技術賞・技術奨励賞は学術委員会へ委嘱することを出席者一同異議なくこれを承認した。

(6) 褒賞規定に基づく論文賞・著述賞の選考委員会の委嘱

総務委員長より、資料に基づき、褒賞規定に基づく論文賞・著述賞の選考委員会を編集委員会へ委嘱することを出席者一同異議なくこれを承認した。

**2) 将来構想委員会 (安原委員長)**

委員長より、引続き学会知名度を高めていく活動を行うとの報告があった。

**3) 編集委員会 (住谷委員長)**

(1) 委員長より、資料に基づき、選考委員会で候補者を絞り選考して行く旨の報告があった。

(2) 委員長より、資料に基づき、日本医学会連合社会部主催「若手リトリート 2019」へ群馬パース大学の吉岡先生(2019 年度論文賞受賞者)を学会から推薦し参加することについて、出席者一同異議なくこれを承認した。

(3) 委員長より、英文論文の投稿に対応するために投稿規定の追記改定について報告あり。投稿が英文だけでは読みにくいのではないかとの意見を踏まえ、英文投稿に対しては和文要旨も一緒に付けて貰うこととした旨報告あり。

英文投稿は、既にエディティング済のものとするとしてはどうかとの意見を踏まえ、引き続き編集委員会で検討することとした。

**4) 学術委員会 (安原委員長)**

各委員会委員長より以下報告があった。

(1) **安全対策委員長 (南委員長)**

委員長より、資料に基づき、第 19 回医療機器安全対策研究会(テーマ : 医療機器安全管理のさらなる充実を目指して)を 2021 年 3 月 20 日(土・祝)に北海道情報大学で開催する旨の報告があった。

(2) **クリニカルエンジニアリング委員会 (加納委員長)**

委員長より、資料に基づき、2020 年第 1 回クリニカルエンジニアリング研究会を 2020

年10月17日(土)にWeb開催(Zoomによるオンライン)し参加者129名受講した旨、また、2020年度第2回クリニカルエンジニアリング研究会は、2021年3月13日(土)開催予定との報告があった。

#### 【臨床ME専門認定士合同認定委員会】(加納委員長)

委員長より、資料に基づき、第21回臨床ME専門認定士認定更新講習会2020年11月9日(月)～20日(金)に公益社団法人日本生体医工学会/日本医療機器学会共催でWebによる実践ME技術講習会をオンデマンド開催した旨の報告があった。

#### (3) 機器と感染カンファレンス委員会(高階委員長)

委員長より、資料に基づき、第29回機器と感染カンファレンスは2021年1月30日(土)に大阪で、第30回機器と感染カンファレンスは2021年3月27日(土)に岐阜で開催し、第31回については2022年7月31日(土)に仙台を予定している旨の報告があった。

#### (4) 病院サプライ研究会(深柄委員長)

第25回病院サプライカンファレンスを2020年10月に一橋講堂にて開催する予定であったが、コロナ禍で中止とした。次回開催については、2021年度に繰延しWeb開催も視野に入れて実施計画する報告があった。

#### (5) メンテナンスマニュアル出版委員会(上寺委員長の代理 安原学術委員長)

委員長より、引き続きメンテナンスマニュアルの普及と認知度を高めていく旨の報告があった。

### 5) 滅菌技士認定委員会(高階委員長)

- (1) 委員長より、資料に基づき、2020年度第21回第2種滅菌技士認定講習会申込状況(最終)/2020年度第18回第1種滅菌技士認定学科講習会申込状況(最終)及び2020年度第17回第1種滅菌技師認定実技講習会の報告があった。尚、この17回については、コロナ禍で実開催に参加出来なかった12名の受講者について、次年度の受講料に充当措置をする旨の報告があった。

### 6) 滅菌管理業務検討委員会(深柄委員長)

委員長より、資料に基づき、全国の滅菌管理部門の業務レベルを評価し、そのための基準作成、そして将来的に学会で認定制度、もしくはそれに至らなくてもそれぞれの施設で業務レベルを自己評価するための基準ツールとして使用してもらう目的で、将来、診療報酬にも繋がるのではないかとの意味も含めて評価ツールを作成している旨説明があった。

#### (1) 評価ツール(回答例)

全国国立大学病院材料部長会議において昨年評価ツールのプロトタイプを各施設にモニタリングし、33の大学から回答(再生処理の工程、作業量の評価、標準手順書、他部署とのコミュニケーション)を得た。

#### (2) 評価ツール(改訂版)

上記の結果を、今年度の全国国立大学病院材料部長会議で報告し、それに基づき改訂版を作成した。しかし、設問の多さ、文章表現等まだまだ評価ツールとして改定しなければならぬ事象が判明し、今後、委員会を開催し数か月かけて分かりやすい評価

ツール内容に改善する。次回の理事会で再改定版について報告する旨説明があった。

### (3) 評価ツール採点

大学によって自己評価が厳しい大学と甘い大学に分かれており、業務内容を分かっている人が回答すると結果として点数が厳しくなる傾向が分かった。再生処理工程の評価やその他の項目も比較的高得点寄りに正規分布となる傾向になる結果となった。しかし、他部署とのコミュニケーション(定期的にミーティング実施等)については、かなりできていない大学が多いことが判明し低分布となっているため、更に改善する余地があることが判明した。評価ツールを作成することで、全国の医療施設における再生処理担当のレベルアップで図れると報告があった。

### 7) 広報委員会 (高階委員長)

新しいホームページへの移行が終了し、また編集委員会と連携して定期的にメルマガ配信と、課金についてはPayPay 対応を行った旨の報告があった。

### 8) 国際委員会 (東委員長)

委員長より、資料に基づき、AAMI (先進医療機器学会)へのメンバーシップ 13 名登録した旨の報告があり、出席者一同異議なくこれを承認した。

#### 【ISO/TC198 国内対策委員会】(東委員長)

特に無し。

### 9) 医療機器 UDI 標準化委員会 (酒井委員長)

第 95 回大会の一般演題における「鋼製器具 2 次元シンボル本体表示位置標準ガイド策定に関する研究」において医療機器 UDI 標準化委員会メンバーとして参加活動し、2020 年 10 月 16 日には、GS1 ヘルスケアジャパン協議会における講演で「病院における医療材料・物流を現場から見た GS1 標準化意識に関する現状と問題点」とした講演を行った。医療機器 UDI 標準化委員会は 2020 年 12 月 4 日開催し、今後の方策について検討した旨報告があった。

### 10) MDIC 認定委員会 (臼杵委員長)

- (1) 委員長より、資料に基づき、MDIC 認定更新に必要なポイント取得基準について、「なお、以下の基準は会場開催、Web 開催(ライブ、オンデマンド)に適用する。」を追記した旨の報告があった。
- (2) 委員長より、資料に基づき、2021 年 1 月 24 日(日)開催予定の第 13 回 MDIC 検定試験の会場開催を中止し、(一財)全日本情報学習振興協会の協力を得て、カメラを使用して常時監視する等不正防止策を講じたオンライン試験システムを活用して検定試験を実施する旨報告あり。カメラレンタル料と往復送料コスト(受講者負担と学会負担)2000 円を加え、受験料を 13,000 円とする旨報告があった。

### 11) 事業体部会 (根本部会長)

#### (1) 第 96 回大会併設展示について

部会長より、資料に基づき、2021 年 5 月 27 日(木)～5 月 29 日(土)に大阪国際会議場で第 96 回日本医療機器学会大会併設機器展示会メディカルショー&ビジネスエキスポ 2021 の併設機器展示会「テーマ展示」「公開セミナー」開催趣意書を 2020 年 11 月に出版案内を事務局より発送した旨の報告があった。公開セミナーは、手術用ロボット関連、

医療 IoT 関連、医工連携関係関連を、テーマ展示については、公開セミナーでの実施企業に対して関連展示の依頼を検討している。その他、大阪大会となるため、大阪医療機器協会にも協力を依頼する旨の報告があった。

## 12) 関係団体

### (1) (一財) 日本医科器械資料保存協会 (事務局)

特に無し

### (2) 日本医学会 (安原理事)

理事会において、COVID-19 に関する内容や若手リトリートに関する報告があった。

- ・ 評議員 (担当 安原理事) 特に無し
- ・ 連絡委員 (担当 南理事) 特に無し
- ・ 用語委員 (担当 深柄理事) 特に無し
- ・ 用語代委員 (担当 住谷理事) 特に無し

### (3) 日本臨床検査標準協議会 理事 (矢富委員長)

今年、公益社団法人化(2020年4月)したとの報告があった

### (4) (公財) 医療機器センター 理事 (矢富理事長)

特に無し

## 13) 財務委員会 (植竹委員長)

- (1) 委員長より、資料に基づき、2020年4月1日～9月30日の収支状況は、第95回学会大会を6月に予定としていたが、コロナ禍の影響により実開催を取り止め9月～10月に亘ってのWeb開催としたため、前年同期比で大会収支関係の金額が大きく違っている。事業費についてもコロナ禍の影響で各委員会活動費用の発生が少ない。管理費については、予算通りに進捗しているとの報告があった。

## 14) 利益相反委員会 (安原委員長)

委員長より、役員(理事・幹事)は、例年通り2021年年初に2020年分(2020.1.1～12.31)のCOI自己申告書を提出して貰うことになる旨説明があり、出席者一同これを了承した。

## 15) 倫理委員会 (平田委員長)

特に無し。

## 4. 第95回大会収支確定報告及び今後の学会大会開催予定について

### 1) 第95回大会 (2020年9月20日～10月19日: Web開催) (平田大会長/事務局)

#### (1) 総括(報告)

大会長より、大会テーマを「Go to the next stage」とし、コロナ禍の影響を受け実開催を取り止め学会初めてのWeb開催となった。参加者は約2,200名に達し、オンデマンド配信もトラブル無く無事終了出来たことを、大会組織関係者に感謝の意を伝える報告があった。

#### (2) 大会収支決算について(確認)

事務局より、資料に基づき、第95回大会(Web開催)に関する収支報告があった。懸念材料としていた会場費キャンセル料についてはかからずに対応したとの報告があった。

### 2) 第96回大会(2021年5月27日～29日: 大阪国際会議場) (高階大会長/事務局)

- (1) 大会長より、学会大会プログラム準備状況については、プログラム委員会で特別講演、教育講演、シンポジウム・パネルディスカッション等各分担が決まり、公募するパネリストについて公募済、特別講演についてはほぼ確定し、一般演題については募集を始めた状況との報告があった。
- (2) 大会長より、学術大会参加費については既に 2019 年度第 3 回理事会にて値上げが承認されたが、第 95 回大会についてはコロナ禍の影響もあり、参加費が据え置きされた。第 96 回大会の開催に当たってはハイブリッド開催を予定。Web による配信追加費用の負担増もある中で、収入については、なるべく参加者の参加費負担を軽減する措置をとり、また支出についても今後外部と金額交渉することで費用削減を行う。次回の 2021 年 3 月の理事会では、ハイブリッド開催が出来るか否かを含めた開催方法や大会収支に関し詳細報告する。  
メディカルショーの収支については、実開催を前提として作成しておりコロナ禍でもあり前回大阪大会の約 6~7 割程度の収入見込みで作成し 2021 年 3 月次回の理事会で、事務局から出展関係についても詳細に報告する。
- 3) **第 97 回大会(2022 年 6 月 2 日~4 日 : パシフィコ横浜) (住谷大会長)**  
高階大会長の下、第 96 回大会プログラム委員として参加しており、開催方法については、第 96 回大会状況を確認しながら勉強させて貰うとの報告があった。
- 4) **第 98 回大会(2023 年) 大会長選出の件 (理事長)**  
東理事より、過去の学会への功績を踏まえ大会長として深柄理事が適任ではないかとの推薦があり、審議の結果、参加者一同承認した。深柄理事が、大会長の承諾と抱負を述べた。
- 5) **第 98 回大会(2023 年)の大会会場仮予約の状況について (事務局)**  
事務局より、資料に基づき第 98 回大会の会場(パシフィコ横浜)予約状況についての報告があった。
5. **100 周年記念事業 / 委員会設立及び実行委員選出について (安原委員長)**  
委員長より、100 周年記念事業の 2023 年開催に向けて、同実行委員会委員を総務委員会、編集委員会、将来構想委員会を中心に実務メンバーを人選していきたい、また、同委員会への立候補者は 12 月末迄に事務局宛連絡して欲しいことを伝え、次回理事会にて実行委員会委員メンバーについて報告することとした。
6. **閉会宣言 (理事長)**  
その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が、17 時 45 分閉会宣言した。
7. **その他事務連絡など**
  - 1) **事業報告・事業計画の提出について (事務局)**  
事務局より、各委員長・部会長へ 2021 年 2 月 12 日までに事業報告・事業計画の資料提出依頼の連絡を行った。
  - 2) **次回以降の理事会及び総会の予定**  
2020 年度第 4 回理事会開催日時 : 2021 年 3 月 26 日(金) 15:00~17:00  
医科器械会館 2F セミナーホール

2021年度第1回理事会開催日時 : 2021年4月22日(木) 15:00～17:00  
医科器械会館 2F セミナーホール

2021年(2020年度決算)定時総会 : 2021年5月27日(木) 16:30～17:30  
臨時理事会(2021・22年度新任役員による正副理事長選任理事会) :  
2021年5月27日(木) 17:45～18:45 (大阪国際会議場)

以 上

(議事録署名)

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事1名がこれに署名する。

2020年12月15日

議事録署名人  
(矢富 裕理事長)

議事録署名人  
(本田 宏志監事)